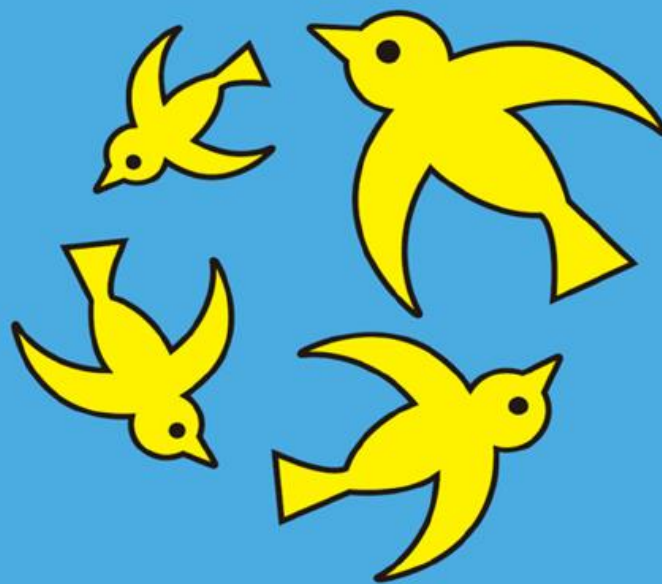


新しい学習指導要領

生きる力

学びの、その先へ



## 令和5年度各教科等教育課程研究協議会 共通説明事項

文部科学省 初等中等教育局  
教育課程課 教育課程企画室

## 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し

### 確認ポイント①

### 自分の地域の学校の授業時数を点検しましょう

観点の例を参考に点検してみてください。



自分の地域の学校の年間総授業時数※は、○○○○時間です。

※各教科、特別の教科である道徳、外国語活動（小学校のみ）、総合的な学習の時間及び特別活動（学級活動のみ）に充てる総授業時数を指す。

### 計画段階で1086単位時間以上の場合

※可能な学校においては、各学校の実情を踏まえ、令和6年度を待つことなく、今年度途中からであっても改善を進めるべきです。

**見直すことを前提に点検を行い、指導体制に見合った計画とする必要があります。**

（点検の観点の例）

- ・児童生徒の学習状況等や教職員の勤務の状況
- ・当該校における近年の休校や学級閉鎖等の状況
- ・教育課程の編成・実施における授業時数の配当や運用の工夫が可能などうか
- 例①実際の年間授業週数を踏まえた週当たりコマ数の適切な設定（例えば小5で28コマ）
- 例②総授業時数を確保した上での1コマ40分による時間割編成 等
- ・指導体制の見直し・改善が可能なかどうか

**当該学校を所管する教育委員会は、学校における教育課程編成の改善が適切に行われるよう指導助言する必要があります。**

### 確認ポイント②

### 自分の地域の学校の学校行事の在り方を見直しましょう

学校は、それぞれの学校行事の教育的価値を検討し、学校としての体裁を保つためのものや前例のみにとらわれて慣例的に行っている部分をやめ、**教育上真に必要とされるものに精選**することや、より充実した学校行事にするため**行事間の関連や統合を図ること**など、**学校行事の精選・重点化を図る必要があります。**

また、**学校行事の準備の簡素化、省力化等を進める必要があります。**

（出典）「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」より（令和5年8月 中央教育審議会質の高い教師の確保特別部会）

【記載例】 p 2について

- 短い時間を活用して特定の教科等の指導を行い、その時間を年間授業時数に含める場合、その旨を記載する。について

例えば、15 分の計算練習を週に 3 回実施することを算数の授業にカウントするものとして教育課程を編成した場合、1 週間で 45 分（1 コマぶん）となり、年間 35 週では 35 コマぶんを年間時数（コマ数）としてカウントすることができる。

ただし、あくまでも算数の授業としての扱いであることから、年間指導計画に組み込み、評価をする必要もある。

- 《小学校記載例》の授業の年間時数は、授業時間を 45 分とした場合に必要な時数（コマ数）として記載されている。  
よって、授業時間を 40 分にするなど、短い時間で設定する場合は、総授業時数を確保するために、年間時数（コマ数）を多く設定する必要がある、《小学校記載例》のとおり年間時数（コマ数）とはならないので注意が必要。

計算の方法としては、合計の授業時間を分（ぶん）に換算して計算する。例えば、5 年社会の《小学校記載例》の年間時数は 100 コマ。これは、 $45 \text{ 分} \times 100 \text{ コマ} = 4500 \text{ 分}$ （これが総授業時数）ぶんの授業時間を確保する必要があるという意味。よって、40 分で授業をする場合であっても、年間の授業時間の合計が 4500 分を下回らないように年間時数（コマ数）を計算し、その計算した年間時数（コマ数）を教育課程の届出書及び実施報告書に記載する。また、そのような方法で実施する場合は、備考欄にその旨が分かるように説明を記載すること。（中学校も同様の考え方）

別表第一（第五十一条関係）

区 分		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の 授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会			70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科			90	105	105	105
	生 活	102	105				
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家 庭					60	55
	体 育	102	105	105	105	90	90
	外 国 語					70	70
特別の教科である 道徳の授業時数		34	35	35	35	35	35
外国語活動の授業時数				35	35		
総合的な学習の 時間の授業時数				70	70	70	70
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総 授 業 時 数		850	910	980	1015	1015	1015

備考

一 この表の授業時数の一単位時間は、四十五分とする。

二 特別活動の授業時数は、小学校学習指導要領で定める学級活動（学校給食に係るものを除く。）に充てるものとする。

三 第五十条第二項の場合において、特別の教科である道徳のほか宗教を加えるときは、宗教の授業時数をもってこの表の特別の教科である道徳の授業時数の一部に代えることができる。（別表第二及び別表第四の場合においても同様とする。）

別表第二（第七十三条関係）

区分		第1学年	第2学年	第3学年
各教科の 授業時数	国 語	140	140	105
	社 会	105	105	140
	数 学	140	105	140
	理 科	105	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	105	105	105
	技 術 ・ 家 庭	70	70	35
	外 国 語	140	140	140
特別の教科である道徳の授業時数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
特 別 活 動 の 授 業 時 数		35	35	35
総 授 業 時 数		1015	1015	1015

備考

一 この表の授業時数の一単位時間は、五十分とする。

二 特別活動の授業時数は、中学校学習指導要領で定める学級活動（学校給食に係るものを除く。）に充てるものとする。

【留意点】

- ・通常どおり、小学校 45 分、中学校 50 分で実施する場合は、表に示された年間時数（コマ数）が必要である。
- ・小学校の授業を 40 分、中学校の授業を 45 分で実施する場合、時間を短くした分、それに伴って、総授業時数（分）を確保するために年間時数（コマ数）は増えることになる。よって、授業時間を短くして実施した場合、年間時数（コマ数）自体は 1086 コマを超えることも考えられる。（この場合は分（ふん）に換算して確認する。総授業時数（分）が小学校は 45 分×1086 コマ＝48870 分、中学校は 50 分×1086 コマ＝54300 分を超えていないかどうかを確認する。）